

住民の声

不破原地区を
お訪ねしました！

不破原地区は、佐賀地域の中央部、国道56号周辺に位置し、地区長によると戸数は25戸、人口53人の小集落で、その内65歳以上の方が16人おいでることです。

当地区では、毎年主要行事として、4月第一日曜日に地区の女性部の手料理を始めとする住民手作りの「お花見」を兼ねた「敬老祝賀会」を開

催し、お祝いと親睦を図っているとのことでした。

当地区の主な産業は、山間部に位置しているためか水稲栽培が主の農業が多いほか、菌茸栽培や建設業者、会社員などとのことでした。

9月下旬にお伺いしましたが、彼岸花がのどかな風景に彩りを添える中、沢山の温かい笑顔にも出会え、元気を頂きました。



地域を見守る「熊野神社」



不破原地区の遠景 (上3枚)



地域を支える女性たち
今日は手料理で大活躍です



起立した大塚区長のご挨拶で地区主催の「お花見」兼「敬老祝賀会」のスタートです (上2枚、H30年4月1日、不破原集会所)

当地区は、高齢化が進んだ小規模な集落ですが、高校生までの子ども達が10人ほどいて元気な笑顔に地域は活力を頂いています。

また、近年、地区内に空き家が多くなり、その対策として町のホームページに入居者募集を掲載しています。

現在、5世帯の家族が

入居し、地区の行事にも積極的に参加するなど、多いに地域を盛り上げて頂いています。

議会や行政への一言ですが、昔は盛んであった水稲栽培も高齢化が進む中、耕作放棄地が増えて管理に苦慮している現状もあり、これらの課題解決により一層の取り組みをお願いします。

大塚 一福区長の声

編集後記

今年是国内外で大きな災害が発生しました。大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号災害、震度7を記録した北海道地震など暇がありません。15年ほど前の、あるお母さんと小学生の会話を思い出しました。

「今日、勉強は何したの」「ことわざなど」「なにか一つ言って」「子どもはまじめな顔で「備えあればうれしいな」お母さんは笑いながら話していました。

避難タワーや避難道の整備が今年で計画はほぼ完了。今後は避難後の対策が重要です。議会も執行部も、町民の皆さんとも協力しながら進める必要があります。

「備えあればうれしいな」
(藤本岩義)

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 浅野 修一
- 委員 坂本 あや
- 同 小松 孝年
- 同 藤本 岩義
- 同 宮地 葉子